

# チャレ\*くま通信

「チャレ\*くま通信」は就労移行支援事業所チャレジョブセンター熊谷が定期的に発行する広報誌です

## 就職・検定情報

▽今月は4名の方が就職されました。医療機器メーカーの研究、情報システム系企業、サービス業、そして医療法人です。職種は現場軽作業、事務職。事務職では、オフィス勤務が1名、完全在宅勤務が2名です。当センタ―が実施している在宅訓練を経て、難関の完全在宅業務に合格された方も。皆さん、それぞれの壁を乗り越え、志望の業務を勝ち取りました。おめでとございます。

▽当事業所では、多くの利用者様が事務職として就職されています。MOS資格を取得される方が多いことも特徴です。MOSの認定試験会場になっており、事業所内で安心して受験できます。そのほか、文章執筆やイラスト制作、軽作業など様々な訓練が可能です。



編集部まえがき



私達が衣替えをする一方、木々は衣を脱いでいく。徐々にむき出しになる樹皮を見て冬の到来を覚えた。一見寂しそうに見える姿でも枝が見えるようになった分、枝同士が手を繋ごうとしているようにも見える。衣類で補えない温かみはすぐそばにあるのかもしれない。



## 「もう無理かも…」からの復活 完全在宅勤務合格までの軌跡

在宅訓練を経て、難関の完全在宅勤務に合格したAさん。書類選考や面接で何度も退けられ、苦しい思いをするも、「自分が自分を鍛えてくれた」と振り返る。Aさんの合格までの軌跡を追った。

Q、通所のきっかけは？

精神科のケアワーカーの方から紹介されました。母と一緒に見学し、他の事業所とも比較して「明るい雰囲気」で「個別ブースもあって安心できる」ことから入所を決めました。

Q、通所を始めたときの気持ちは？

「MOSの資格を取り事務職につきたい」という目標を持っていました。Word・Excel・PowerPointに加え、Excelエキスパートまで取得。教材を買って家でも繰り返し学習しました。「就職のために必要」という思いがモチベーションになりました。



就職活動での苦い経験が自分を鍛えてくれた

Q、通所中で印象に残っていることは？

通所は週1日からはじめ、徐々に在宅訓練も取り入れていきました。通所中は職員さんとの雑談や相談が心の支えとなりました。面と向かって悩みを打ち明けるよりも、まずはメモを渡して気持ちを伝えました。これが自分には合っていました。落ち込んでいた時期もありましたが「続けていけば何とかなる」という信念で、前向きに取り組むことができました。

Q、就職活動での迷いや悩みは？

書類選考や面接に落ちて落ち込むこともありましたが、その都度、メモを通じた相談や、自分の好きなことをして、気持ちを立て直しました。「もう無理かも」と思ったときもありましたが、事務職へのこだわりは、一度も揺らぎませんでした。右半身が不自由なため、それしかないという覚悟で臨んでいました。そして、思わぬことが転機となりました。恐怖さえ持っていた、電車に乗れたことです。在宅勤務一辺倒ではなく通勤も視野に入れ、挑戦してみよう。一駅区間ですが、旅立ちの一步となりました。



面接をうまく乗り越えられたのは、「笑顔」のおかげ

た。どのようなことでも挑戦できるという思いが自然とわいてきたんです。それまで落ち続けてきた経験も「自分を鍛えてくれた大切な過程」だと思っています。

Q、面接を乗り越えるために大切なことは？

合格して実感したことですが、とにかく「笑顔」が大切だと思いました。面接の雰囲気もよくなりますし、相性をはかるバロメーターにもなります。職員さんとの雑談を通じて自然な笑顔を作る練習ができました。

Q、就職を目指すメンバーに伝えたいことは？

「焦らず、自分のペースで進んでいけば、就職できる」と伝えたいです。チャレジョブは、資格取得や就労準備の場であると同時に、安心して自分のペースを保ちながら成長できる居場所です。